

「第24回クラブ対抗!ルーオリエンター!リング大会」ご報告

「第24回クラブ対抗!ルーオリエンター!リング大会」にご参加いただき、ありがとうございました。今回は26クラブ(3チーム以上参加クラブは昨年の9から13へと増加)、82チーム、ワンマンルー2名、個人10名と、10年ぶりに250名を超える大勢の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。クラブ対抗の結果は、京葉OLクラブが2013年第13回大会以来6度目の優勝を飾られました。準優勝は東京OLクラブ、第3位はES関東クラブでした。おめでとうございます。

他のルー大会とは異なり本クラブ対抗!ルー大会は、チーム構成者の属性による加点と同一クラス参加チームすべてに得点を与えるというルールで行っています。この点を十分考慮されてチームを編成し、参加クラスを決められている「戦略的なクラブ」が毎年上位の常連となっていっしょいます。来年は、常連以外のクラブの方々にも十分に戦略を練ってご参加いただき、ぜひクラブ対抗でも上位進出を果たしていただきたいと思ひます。

さて、成績算出に当たり参加者の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げなければなりません。大会終盤にフィニッシュのユニットが故障し、6名の方のフィニッシュ時刻を特定化できませんでした。フィニッシュにビデオを設置しましたが、当該時刻時は記録がとれていませんでした。該当の方々につきましては、最終コントロールからフィニッシュまでを1分とし、ラップセンター掲載の成績表のお名前の前に*をつけさせていただきました(クラブ対抗の上位成績にこの処置は決定的な影響は及ぼさないと判断いたしました。また、この処置を決めるのに時間がかかり、最終成績をラップセンターに掲載するのが遅くなりました)。また、レンタルカードが数枚機能せず、バックアップラベルを落とされました方につきましては、成績をお出しすることができませんでした。

Emitシステムが不安定化する昨今、当協会では昨年以來、パンチングシステムを今後どのようにしたらよいか話し合ってきましたが、今回のような事態に至りましたこと、重ねてお詫び申し上げます。今後の協会方針を決める一つの試みとして、次回主催いたします5月23日(土)の県民大会はSIシステムで実施することを予定しております。大会参加者の皆様におかれましては、Eカード使用時にテープで固定するなどバックアップラベル落下の予防措置を取られますよう強くお勧めいたします。

また、アクティベートせずに出走された中高生が多数いっしょいました。今回は救済いたしました。が、今後は必ず電子パンチングシステムの手順を忘れずに行うようご注意ください。救済措置を施す必要も加わり、全体の成績を確定するのに手間取り、クラブ対抗表彰がなかなか行えませんでした。さらに、実施しました会場での表彰も誤った順位に基づいて盾を授与してしまい、東京OLクラブ、入間市OLC、ES関東クラブの方々には多大なご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございません。

本大会は、埼玉県内でも古くから利用されてきました高麗郷トレインで実施いたしました。昨年、宮沢湖周辺にムーミンバレーパークが開園したことに合わせて、みちの会が地図を新装され、その北部分の地図「高麗郷(北)2019」を利用させていただきました。かなり狭い地域ですが、コース設定担当の本協会会長の苦心作はいかがだったでしょうか。何人もの方から「おもしろかった」とのお言葉を頂戴いたしました。スタート時刻にはかなり強い雨に見舞われ、落葉に滑るなどして怪我をされる方がではないかと心配いたしました。が、幸い手当てを求められる方はいっしょいませんでした。

最後になりましたが、地図をご提供いただきましたみちの会、会場をお貸しいただきました日高市立高麗中学校、特に神田教頭先生、ありがとうございました。今回生じた様々な問題への対処をしっかりと準備し、今後も多くの皆様にご参加いただき、楽しんでいただけるよう努力してまいります。今回参加されました皆さんには、新たな仲間をおさそいいただき、次回大会にもぜひご参加いただきたいと思ひます。お待ちいたしております。

(運責:齋藤英之)



Lクラス表彰（左から準優勝「横浜 OL クラブ A」、優勝「東大 OLK-1」、3位「樺会」）



Mクラス表彰（左から3位「東京 OL クラブ天」、優勝「ES 関東クラブ-B」、準優勝「京葉 OL クラブ(大房岬)」）



Sクラス表彰（左から3位「ES 関東クラブ D」、優勝「京葉 OL クラブ(宮本家)」、準優勝「東京 OL クラブ地」）



スタート付近



フィニッシュへ疾走



会場からビジュアルコースを望む



風変わりなティア